

「居住支援の在り方からネットワークの課題を考える」 第1回居住支援セミナーの概要

とき 2021年9月22日(水)14:00~16:00

ところ 特別養護老人ホームほなみ会議室(Zoom開催)

目的 居住支援制度について理解を深め、今後のネットワークづくりへの課題を明らかにする
出席

病院	8
地域包括	6
障害支援	3
自治体(住宅供給公社含む)	5
困窮	2
不動産	4
生協・主催	9
その他	2
	39

内容

開会挨拶(司会) 協同福祉会居住支援部責任者 山口

各パネラーから以下のテーマで報告をいただいた。

住宅確保要配慮者への支援制度について(群馬県住宅政策課檜崎様)

居住支援法人としての活動を開始して(社会福祉法人協同福祉会)

生活困窮者の支援からみる居住支援の課題(まえばし生活自立相談センター白田様)

退院支援と居住支援連携の必要性について(前橋協立病院小林様)

高齢者世帯の住宅確保に関する課題(地域包括支援センター南部角田様)

障害者の住宅確保に関する課題(基幹相談センター吉越様)

それぞれのパネラーから要配慮者に対する居住支援の必要性と連携の重要性が指摘された。

また参加者より以下の質問や意見が出された。

○ 認知症の方で自宅が空き家になっている場合の空き家の利用について、契約を伴う問題があり、権利擁護も含めた対応が必要だが何かよい手立てがないものか

○ 精神障害を持つ方の支援において、医療のかかわりの持ち方をどのように行ったらいいか
明確な回答はできないが、今後ネットワークづくりを強めていく中で対応を進めていくことが確認された。

まとめとして、主催者を代表し協同福祉会より、以下の提案があった。

居住支援における大きな課題はやはり保証問題。債務保証については連携が可能だが、要配慮者が孤立せず最後まで人間らしい暮らしをしていくには要配慮者を支えるまちづくりのネットワークが必要。そのネットワークを本日集まっていたいただいた機関や団体と今後つくっていきけるよう引き続き御協力をお願いしたい。

以上